

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福島県浅川町
本事業の担当部局名 企画商工課

事業メニュー	結婚新生活支援事業							
区分	一般コース							
関連事業メニュー	4.1 結婚新生活支援事業(一般コース)							
個別事業名	浅川町結婚新生活支援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続					
実施期間	令和7年4月1日	~	令和8年3月31日	事業開始年度	令和3年度			
総事業費(A)(円)	600,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	600,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	600,000							
費用内訳(円)	個別事業の内容のとおり							
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本事業では、少子高齢化による人口減少が著しい。(平成27年6,577人、令和2年6,036人)その中でも、20歳~39歳代の減少が顕著である。これは、若者が都市部に移住しているためと考えられる。町は、若者が子育てや仕事の面において、生活しやすい環境を作る必要がある。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本町の「浅川町第5次振興計画」の、「人と文化づくり」の政策では、若い世代が安心して子育てできる環境を整備を目標としている。「基盤づくり」では、若者向けの住環境の強化、人口減少の歯止めができる環境強化のため、少子化対策事業の強化は必要である。 本事業は、この「人と文化づくり」、「基盤づくり」に位置づけ、少子化対策および若者の生活環境の向上、定住の施策として、計画の実現に向けた。</p>							
個別事業の内容	1. 概要							
	【対象費用】							
	<input type="radio"/>	住宅取得費用	<input type="radio"/>	住宅リフォーム費用	<input type="radio"/>	住宅賃借費用	<input type="radio"/>	引越費用
	【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満					
		自治体独自基準						
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯					
		自治体独自基準						
	【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	29歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円					
自治体独自基準								
39歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円						
	自治体独自基準							
【その他独自要件】								

2. 申請見込

①新規世帯見込

1	世帯
---	----

 上記のうち

ともに29歳以下	1	世帯
その他	0	世帯

②継続補助世帯見込

0	世帯
---	----

 (継続補助規定の有無)

無

【世帯数積算根拠】

600千円 × 1世帯 = 600千円

(参考)

【令和6年度申請状況】

実施中		
申請世帯数見込	1	世帯
~12月(実績)	0	世帯
1月~3月(見込)	1	世帯

【金額積算根拠】

<上限額>

(29歳以下)	1	世帯	×	600,000	円	=	600,000	円
(その他)	0	世帯	×	300,000	円	=	0	円
				(継続補助)			0	円
				合計			600,000	円

<左記の上限額の合計を使用しない場合の積算>

3. 広報の実施予定

町ホームページ及び町広報誌にて周知

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		町民の婚活イベント等の情報提供回数		回	20 (令和7年)
	浅川町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における数値目標				
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.52 (平成25年~29年)	
	婚姻件数		件	12	
	婚姻率			1.9	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%		
		(アウトカム)			
	①	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	40	20
②	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	40	20	